

評価結果の公表

施策名 協働による地域力が備わるまちづくり

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	支え合い学び合うまち
施策	協働による地域力が備わるまちづくり
主管部局	市民協働部
主管課	協働推進生涯学習課
関係課	協働推進生涯学習課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民一人ひとりが地域のために活動しており、市民、自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティア、事業者及び行政のそれぞれが協働し、地域の課題を解決する「地域力」が備わったまちになっています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	24,192	0
(2)事業費	87,394	83,073
フルコスト（歳出合計）	115,743	83,073
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	4,338	4,783
(5)一般財源（市税収入など）	83,056	78,290
歳入合計	87,394	83,073

4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	自治会加入世帯率										単位	%
											現状値	57.8
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0	63.0	64.0	65.5	67.0	68.5	70.0	
実績値	56.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	「自治区加入世帯率＝自治区加入世帯数／総世帯数」 各自治区からの自治区加入世帯数データ、住民基本台帳をデータの出所としています。											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	自治区加入世帯率は、平成8年度の70.46%をピークとして、減少傾向が続いており、令和2年度も実績値が計画値に達しませんでした。											

有効性指標 2

指標名	「自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティアなどの地域活動を行っている」市民の割合										単位	%
											現状値	24.7
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	25.0	25.0	26.0	26.0	27.0	27.0	28.0	28.0	29.0	29.0	30.0	
実績値	19.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティアなどの地域活動」に「活動している」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、地域活動に対する機運が低下し、実績値が計画値に達しませんでした。											

評価結果の公表

施策名 協働による地域力が備わるまちづくり

有効性指標 3

指標名	市民活動マッチング件数（年間）										単位	件
											現状値	38.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
実績値	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	大府市民活動センターにおける人材、資材などの年間マッチング件数											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、市民活動に対する機運が低下し、実績値が計画値に達しませんでした。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
地域振興事業	協働推進生涯学習課	60,329 (60,329)	指標名	自治区加入世帯率	妥当性	A
			単年度計画値	58.0	有効性	A
			単年度実績値	56.2		
			単年度達成率	96.9%		
			最終目標に対する達成率	80.3%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 市民の活動に応じて適切な方法で組織の自立支援及び地域への情報伝達体制の総合化を図るため、自治会活動、コミュニティ活動の促進により自治意識の高揚、地域の活性化を図るとともに、市と地域相互の情報の共有化を進めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
市民との協働推進事業	協働推進生涯学習課	15,373 (15,373)	指標名	協働推進のための会議等開催回数	妥当性	A
			単年度計画値	6.0	有効性	A
			単年度実績値	6.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 市民活動のしやすい環境を整備し、活動の活性化を図るため、行政と市民及び市民活動団体との協働の連携の強化及び行政への理解と協力を深め、市民団体との協働による事業展開を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
市民活動センター事業	協働推進生涯学習課	40,041 (40,041)	指標名	市民活動相談件数	妥当性	A
			単年度計画値	560.0	有効性	A
			単年度実績値	352.0		
			単年度達成率	62.9%		
			最終目標に対する達成率	59.7%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 市民活動の活性化を図る支援体制と支援方法の確立のため、多種多様な市民活動団体が活動しやすい環境を整備するとともに、新たな市民活動団体の育成に努めます。						

評価結果の公表

施策名 協働による地域力が備わるまちづくり

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	自治区加入世帯率の減少傾向が続いており、活動の縮小化や地域活動の担い手の負担増が課題となっています。市民等による協働のまちづくりを推進するために、多種多様な場面で活躍する協働の担い手を育成することが求められています。その一方、各種イベントに参画する新たな市民活動団体が増加しており、講座、イベント、相談等を市民活動センターで総合的に実施することで、市民活動団体の育成や発掘が進んでいます。
施策の推進 に向けた 今後の方針	地域社会及び地域活動を活性化するために、自治区及びコミュニティ推進協議会への支援を継続するとともに、新たな協働の担い手を育成します。また、今後も公益性が高く、協働の成果の高い市民ならではの事業を積極的に支援します。

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	支え合い学び合うまち
施策	地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり
主管部局	市民協働部
主管課	協働推進生涯学習課
関係課	協働推進生涯学習課、青少年女性課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	生涯学習を通じた学びの循環により地域の絆を構築し、自ら学びを実践することで課題を解決する学習風土が醸成されています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	192,958	0
(2)事業費	92,155	77,395
フルコスト（歳出合計）	301,208	77,395
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	1,896	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	2,530	5,976
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	5,165	2,528
(5)一般財源（市税収入など）	82,564	68,891
歳入合計	92,155	77,395

4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「サークル活動や習い事など、文化活動・生涯学習に取り組んでいる」市民の割合										単位	%	
											現状値	26.3	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	27.5	27.5	29.0	29.0	31.5	31.5	33.0	33.0	34.0	34.0	35.0		
実績値	21.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の設問「サークル活動や習い事など、文化活動・生涯学習に取り組むこと」に対し、「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、文化活動及び生涯学習活動に対する機運が低下し、実績値が計画値に達しませんでした。												

有効性指標 2

指標名	地域・社会活動に参画した高校生・大学生の延べ人数（市及びコミュニティ事業）										単位	人	
											現状値	800.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	900.0	850.0	850.0	900.0	900.0	1,000.0	1,100.0	1,200.0	1,300.0	1,400.0	1,500.0		
実績値	338.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	「青少年健全育成推進事業」のうち、高校生・大学生が関わった人数												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、イベントや事業が中止になり、実績値が計画値に達しませんでした。												

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
生涯学習機会 拡充事業	協働推進生涯 学習課	38,297 (38,297)	指標名	生涯学習プラン重点講座実施回数			妥当性	A
			単年度計画値	35.0			有効性	A
			単年度実績値	14.0			効率性	A
			単年度達成率	40.0%				
			最終目標に 対する達成率	28.0%				
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、生涯学習事業への参加推進し学習の 社会還元「おすそわけ運動」の展開や、各種学級・講座・出前講座を実施します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
青少年支援事 業	青少年女性課	10,016 (10,016)	指標名	若者を主体とした会議への参加者数			妥当性	A
			単年度計画値	410.0			有効性	A
			単年度実績値	60.0			効率性	A
			単年度達成率	14.6%				
			最終目標に 対する達成率	44.4%				
事務事業の方向性								
A：拡大 若者の自己肯定感、自己有用感を高め、次代を担う市民を育成するために拡大する必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
地域の教育力 向上事業	青少年女性課	10,206 (10,206)	指標名	ひまわり委員の人数			妥当性	A
			単年度計画値	410.0			有効性	A
			単年度実績値	435.0				
			単年度達成率	106.1%			効率性	B
			最終目標に 対する達成率	103.6%				
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症拡大により、活動の制限はありますが、感染症対策を実施し、地域の見守り活 動、ボランティア等事業を継続して実施します。								

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公民館等生涯学習機会提供事業	協働推進生涯学習課	24,639 (24,639)	指標名	公民館等利用者数	妥当性	A
			単年度計画値	365,000.0	有効性	A
			単年度実績値	151,928.0		
			単年度達成率	41.6%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	47.2%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続						
公民館で実施する生涯学習事業のうち集約することで事業効果が高まる業務を総括し、適切な学習機会を提供できる環境を整備するため、事業の性質や効果、手法などを検証するとともに、様々な広報媒体を用いて、効果的な募集を行います。また、「生きる力の醸成」の一助として、中学生学習支援の運営を行います。						
大府公民館事業	協働推進生涯学習課	23,939 (23,939)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	4,320.0	有効性	B
			単年度実績値	1,124.0		
			単年度達成率	26.0%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	26.0%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続						
適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						
横根公民館事業	協働推進生涯学習課	22,728 (22,728)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,700.0	有効性	A
			単年度実績値	526.0		
			単年度達成率	30.9%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	23.9%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続						
適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						
神田公民館事業	協働推進生涯学習課	25,430 (25,430)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,790.0	有効性	A
			単年度実績値	596.0		
			単年度達成率	33.3%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	33.1%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続						
適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
北山公民館事業	協働推進生涯学習課	26,822 (26,822)	指標名	公民館講座の受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,900.0	有効性	A
			単年度実績値	437.0		
			単年度達成率	23.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	23.0%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						
東山公民館事業	協働推進生涯学習課	22,529 (22,529)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	4,050.0	有効性	A
			単年度実績値	1,201.0		
			単年度達成率	29.7%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	29.7%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						
共長公民館事業	協働推進生涯学習課	21,550 (21,550)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	2,290.0	有効性	B
			単年度実績値	222.0		
			単年度達成率	9.7%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	9.7%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						
長草公民館事業	協働推進生涯学習課	27,651 (27,651)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,940.0	有効性	A
			単年度実績値	333.0		
			単年度達成率	17.2%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	17.2%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
吉田公民館事業	協働推進生涯学習課	21,586 (21,586)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	3,050.0	有効性	A
			単年度実績値	1,709.0		
			単年度達成率	56.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	56.0%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
森岡公民館事業	協働推進生涯学習課	25,815 (25,815)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,540.0	有効性	A
			単年度実績値	305.0		
			単年度達成率	19.8%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	19.8%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 適切な学習機会を選択できるような学習プログラムを整備するため、地域住民に向け各種講座や文化活動を展開し集まる、出会う場を提供し市民参加型の地域行事、まつり等を通して学習の機会を提供します。また、生涯学習推進委員の意見や講座受講者アンケート等を参考に、市民ニーズや地域課題に合わせた講座を計画し、参加者の促進を図ります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	国や県の動向を注視し、地域力の向上に資する事業を展開する必要があるとあり、生涯学習活動や地域活動拠点としての公民館を中心とした地域活動の推進が望まれています。また、生涯学習活動への若い世代の参加が少ないことが課題となっています。生活環境の違いによる学習機会の格差を解消するため、中学生学習支援「まなポート」を継続して実施することが望まれています。
施策の推進に向けた今後の方針	市民の意識向上、地域課題の解決を目的とする事業のため、国や県の動向、市民ニーズの把握に努め、効果的な事業を実施するとともに、若い世代が参加できる生涯学習事業を拡充します。また、より地域に根差した中学生学習支援「まなポート」を実施するため、地域で活動する団体の育成を行います。

評価結果の公表

施策名 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	支え合い学び合うまち
施策	国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり
主管部局	市民協働部
主管課	青少年女性課
関係課	青少年女性課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	国籍や性別などに関わりなく、市民一人ひとりがお互いを尊重しながら支え合う、暮らしやすいまちになっています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	41,003	0
(2)事業費	100,418	76,418
フルコスト（歳出合計）	154,681	76,418
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	1,002	381
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	50	3,744
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	5,144	3,947
(5)一般財源（市税収入など）	94,222	68,346
歳入合計	100,418	76,418

4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「国籍による文化や価値観の違いを互いに認め合うことが大切だと思う」市民の割合										単位	%	
											現状値	46.7	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	47.0	47.0	48.0	48.0	49.0	49.0	51.0	51.0	53.0	53.0	55.0		
実績値	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「国籍による文化や価値観の違いを互いに認め合うことが大切だと思う」ことに「大切である」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、多文化共生社会への市民の理解を深めるための活動が困難だったため、計画値を達成することができませんでした。												

有効性指標 2

指標名	大府市国際交流協会のボランティア登録者数										単位	人	
											現状値	157.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	160.0	160.0	170.0	180.0	190.0	200.0	210.0	220.0	230.0	240.0	250.0		
実績値	139.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の大府市国際交流協会のボランティア登録者数												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの活動自粛等の影響により、ボランティアを募集する機会が減ったため、計画値を達成することができませんでした。												

評価結果の公表

施策名 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

有効性指標 3

指標名	「職場や社会で活躍する女性が増えていると思う」市民の割合										単位	%
											現状値	58.2
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	59.0	59.0	60.0	60.0	61.0	61.0	63.0	63.0	64.0	64.0	65.0	
実績値	55.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「職場や社会で活躍する女性が増えていると思う」ことに「増えていると思う」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、女性の多くが就業しているサービス業等が経済的な打撃を受けており、活躍する機会が減ったことや、女性は非正規雇用で就労している割合が高いため、女性により負荷がかかっていることから計画値を達成することができなかったと考えられます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
多文化共生事業	青少年女性課	21,683 (21,683)	指標名	インターネット多言語情報提供数		妥当性	A	
			単年度計画値	45.0		有効性	A	
			単年度実績値	174.0		効率性	A	
			単年度達成率	386.7%				
			最終目標に対する達成率	290.0%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 国籍や民族などの違いにかかわらず、文化的背景を理解し、ともに安心して暮らしながら、お互いを尊重する地域社会を実現するためには、今後も継続して実施する必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
国際交流教育推進事業	学校教育課	58,639 (58,639)	指標名	英語検定受験料補助金申請者数（市による受験料負担分含む）		妥当性	B	
			単年度計画値	270.0		有効性	A	
			単年度実績値	287.0		効率性	B	
			単年度達成率	106.3%				
			最終目標に対する達成率	95.7%				
事務事業の方向性 A：拡大 小学校英語教育の必修化に伴い、英語教育が早期化しています。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
男女共同参画推進事業	青少年女性課	11,577 (11,577)	指標名	おおぶ男女共同参画ネットワークが行う行事の参加者数		妥当性	A	
			単年度計画値	1,330.0		有効性	B	
			単年度実績値	0.0		効率性	A	
			単年度達成率	-				
			最終目標に対する達成率	-				
事務事業の方向性 A：拡大 おおぶ男女共同参画プランVI「さんかく！おおぶ」に基づき、関連施策を推進していく必要があります。								

評価結果の公表

施策名 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
石ヶ瀬会館施設管理事業	青少年女性課	54,385 (54,385)	指標名	石ヶ瀬会館利用者数	妥当性	A
			単年度計画値	100,200.0	有効性	A
			単年度実績値	23,478.0		
			単年度達成率	23.4%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	23.2%		
事務事業の方向性						
A：拡大 施設の老朽化等にもなう修繕が必要です。また、男女共同参画の拠点施設として女性の活躍を推進したり、支援する事業は拡大していく必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
人権擁護事業	青少年女性課	4,547 (4,547)	指標名	人権教室開催回数	妥当性	A
			単年度計画値	8.0	有効性	B
			単年度実績値	0.0		
			単年度達成率	-	効率性	B
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 差別や偏見により人権が損なわれることをなくすために本事業は継続して実施する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
都市間交流事業	青少年女性課	3,850 (3,850)	指標名	都市間交流事業参加者数	妥当性	B
			単年度計画値	210.0	有効性	B
			単年度実績値	38.0		
			単年度達成率	18.1%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	18.1%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民団体等による主体的な交流も実施しづらく、新たな交流も芽吹くのが困難な状況と言えます。住民レベルでの交流が広く根付く段階までは、市が本事業の実施を継続していく必要があります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで実施していた活動を継続することが困難な状況となりました。
施策の推進に向けた今後の方針	感染症対策を施すほかに、感染状況等に左右されない事業実施方法を検討をする必要があります。